



2009年3月期 第3四半期 決算説明資料

2009年1月30日

NECフィールドディング株式会社

目次

1. 2009年第3四半期 決算概要

2. 2009年第3四半期 主な活動状況とトピックス

3. 2009年3月期 通期見通し

主要経営指標

連 結

金額単位：億円

	2009年3月期 第3四半期 4～12月実績		前年同期比	
	売上高比		増 減	伸び率
↓売上高	1,556	—	+27	+1.8%
↓プロアクティブ・メンテナンス	766	49.3%	+40	+5.5%
↓フィールドイング・ソリューション	790	50.7%	△13	△1.6%
↓営業利益	64	4.1%	+7	+13.3%
↓経常利益	66	4.3%	+7	+11.0%
↓純利益	35	2.2%	+3	+8.2%
↓一株当り純利益 (円)	63.45	—	+4.83	+8.2%
↓フリーキャッシュフロー	+6	—	+1	—

主要経営指標

連結

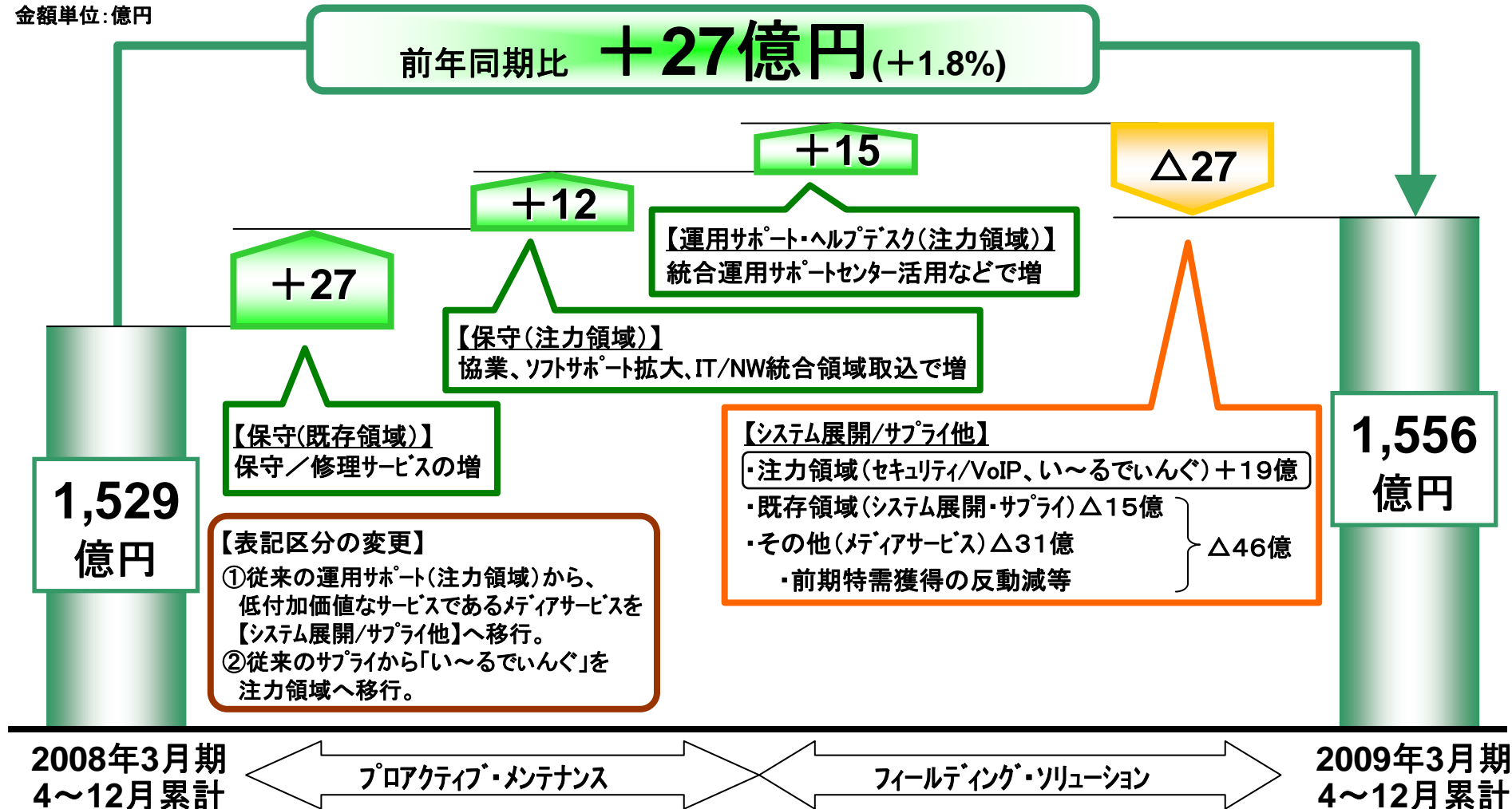
金額単位：億円

	2009年3月期 第3四半期 10～12月実績		前年同期比	
	売上高比		増減	伸び率
↓売上高	524	—	△2	△0.5%
↓プロアクティブ・メンテナンス	256	48.9%	+8	+3.1%
↓フィールドイング・ソリューション	268	51.1%	△10	△3.7%
↓営業利益	26	4.9%	+6	+32.0%
↓経常利益	26	4.9%	+5	+27.3%
↓純利益	14	2.7%	+4	+39.8%
↓一株当り純利益 (円)	26.20	—	+7.45	+39.8%
↓フリーキャッシュフロー	△8	—	+4	—

売上高増減要因(前年同期比)

● 保守既存領域と注力領域の伸長により、増収を継続

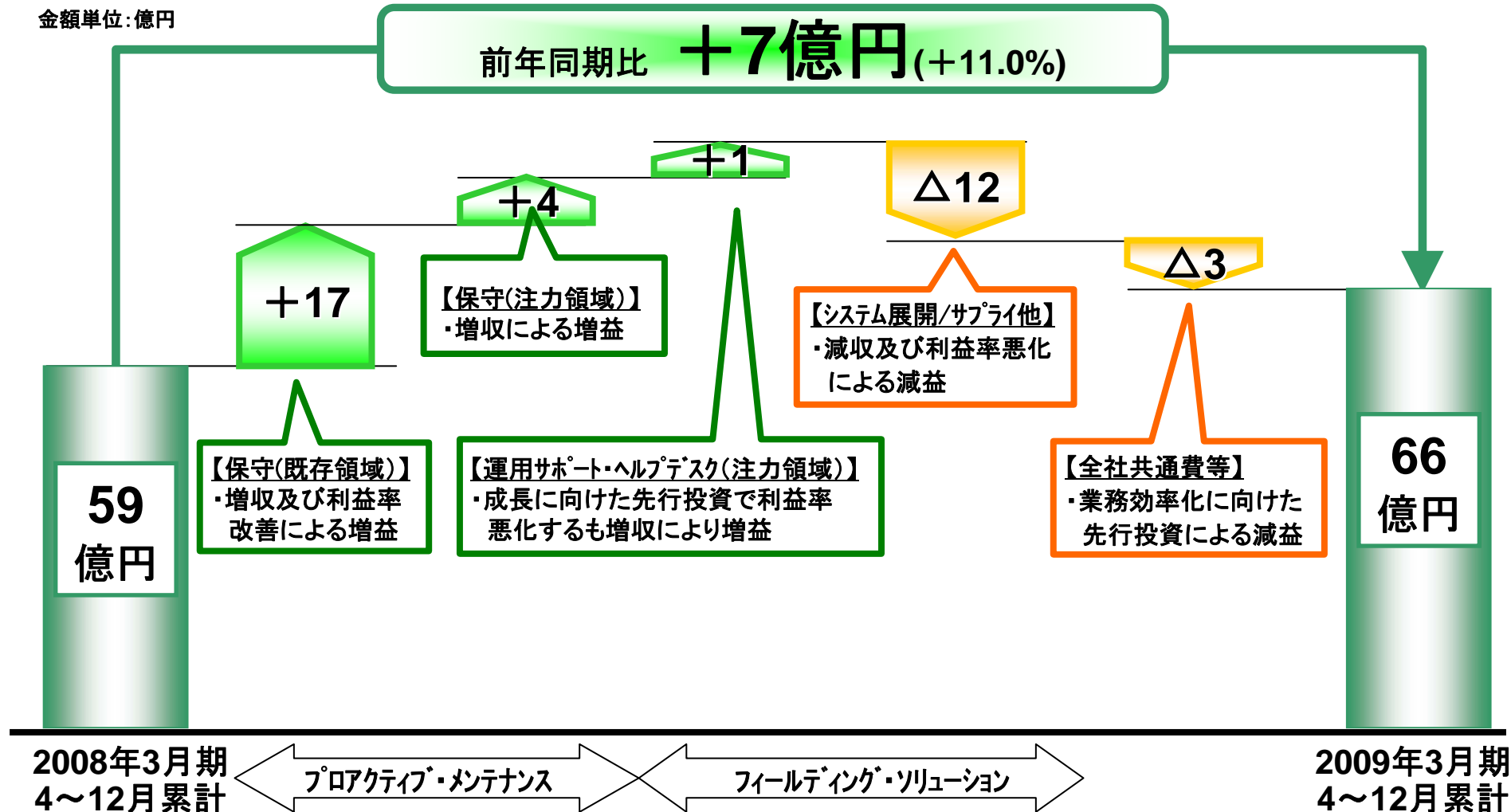
金額単位: 億円



経常利益増減要因(前年同期比)

● 保守・運用領域での増収と利益率改善で、増益を継続

金額単位: 億円



第3四半期 主な活動状況とトピックス

C S

継続して獲得していた第1位の評価を得られず

- ◆J. D. パワー アジア・パシフィック社が主催
「2008年日本ソリューションプロバイダー顧客満足度調査<保守サービス分野>」
- ◆日経コンピュータ誌が実施
「第13回顧客満足度調査<システム運用関連サービス部門>」



『チャレンジ・ダントツCS No. 1』活動開始

業績の支えとなるCS向上強化として、お客さま視点に立ち返った活動

トラブル初期フェーズの改善



SW技術力向上によるHW～SWまでの
ワンストップ対応の強化

仕事(作業)の基本強化運動



ヒューマンエラーゼロ活動、5S活動の
定着を通じて基本作業のスピードアップ

第3四半期 主な活動状況とトピックス

CSR

- ◇日興アイ・アール(株)の「全上場企業ホームページ充実度ランキング調査」で最優秀サイトに3年連続選定(10月)
 - ・サービス業においては、2年連続で2位(優秀サイト)を獲得

成長

◇売上拡大に向けた新サービスの投入

- ・セキュリティ管理&IT資産管理サービス「iQQsam」サービス提供開始(10月)
企業のクライアントPCを対象としたセキュリティ管理とIT資産管理機能をSaaS型サービスで提供し、短期間での導入と運用工数軽減、コスト削減を目的としたサービス
- ・製造業向けERPソリューションとして、「運用まるごとサポートサービス」を商品化(10月)
NECの中堅企業向けERPソリューションメニューにおいて、業務アプリケーション、OS、ハードウェアなどの領域毎に設置していたサポート窓口を、当社の統合運用サポートセンターに一本化し、システムを常時遠隔監視することで障害の未然防止、早期復旧の実現による顧客満足度向上を目的としたサービス
- ・IT事業継続ソリューションの体系化(10月)
NECネクサソリューションズ(株)と当社が双方の強みを活かし共同で、中堅・中小企業および各種団体を対象としたBC/DRのソリューションメニューを体系化

2009年3月期 通期見通し

2008年10月29日公表値から変更なし

金額単位：億円

主要経営指標	2009年3月期 通期見通し		前期比	
		売上高比	増減	伸び率
➡売上高	2,200	—	+59	+2.7%
➡プロアクティブ・メンテナンス	1,020	46.4%	+42	+4.3%
➡フィールドイング・ソリューション	1,180	53.6%	+17	+1.5%
➡営業利益	96	4.4%	+8	+8.2%
➡経常利益	100	4.5%	+7	+6.9%
➡当期純利益	52	2.4%	+2	+3.1%
➡ROE(自己資本利益率) (%)	7.6	—	△0.1	—
➡一株当り配当金 (円)	40.0	—	+10.0	—
➡50周年記念配当:一株当り (円)	—	—	△10.0	—

資料についてのご注意

本資料に記載いたしました認識、戦略、計画などのうち、将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないために、不確定な要因を含んでおります。

実際の業績は、さまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご了承願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社の提供するサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。